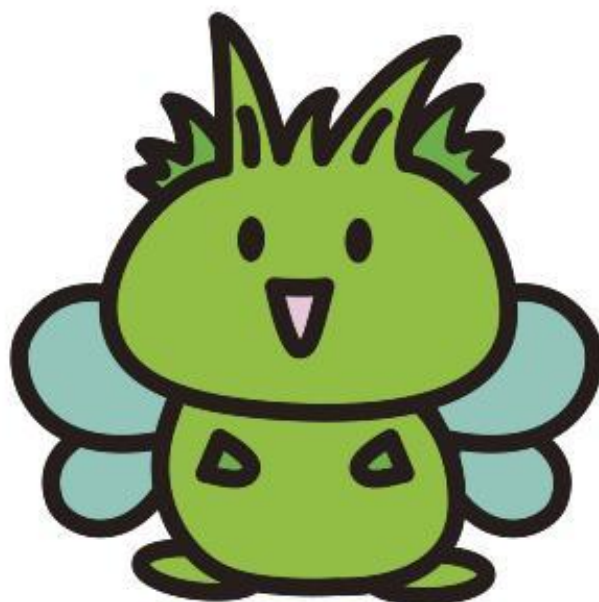




平成26年度版実施計画（速報版）

の主な取り組み



東村山市公式キャラクター

『ひがっしー』

東京都東村山市

平成26年2月10日

東村山市の目指すべきまちの姿（将来都市像）

人と人 人とみどりが響きあい

笑顔あふれる 東村山

～実施計画とは～

- ◆東村山市第4次総合計画基本構想（平成23年度～32年度）において定められた目指すべきまちの姿（将来都市像）の実現に向けた、毎年度の予算編成の指針となるもの
- ◆計画期間は1期3年間の毎年度ローリング方式

※毎年度ローリング方式とは、社会経済情勢の変化や事業進捗に臨機応変に対応し、計画と実態が大きく乖離することを防止するため、毎年度、実施計画について、修正や補完などを行う仕組みです。

平成26年度版実施計画（速報版）のあらまし

平成25年度版実施計画では…**141事業**を採択



平成26年度版実施計画（速報版）では…

市役所本庁舎・第五保育園・中央公民館の耐震化、公立保育園耐震診断の前倒し実施など市民の安全・安心を最優先にした事業や、「子育てするなら東村山」を更に推進するための基金の創設など、改めて事業の精査と選択を行った結果…

143事業を採択いたしました

基本目標 1

みんなで支え助け合う、 健やかにいきいきと暮らせるまち

東村山市に暮らす一人ひとりが年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、住み慣れた地域の中で一生を通して健やかにいきいきと暮らすことができるようにするため、ライフステージに応じた支援や、お互いに支え合い助け合える地域づくりを進めます。

安心して子どもを産み、楽しんで子育てができる健全な育児環境を充実させ、未来の担い手である子どもたちの笑顔を育むまちづくりを進めます。

●【新規】(仮称) 子育てするなら東村山推進基金の創設

予算額 10,000千円

「子育てするなら東村山」と慕われるまちづくりを推進し、待機児童対策その他保育施策を中心とした子育て支援施策に活用するための基金を創設します。

●【新規】第五保育園耐震改修事業

予算額 2,750千円



▲第五保育園

旧耐震基準に基づいて建てられている第五保育園について、平成25年度に耐震診断を実施しました。この結果を受けて、通園する子ども達の安全・安心をより確かなものとするため、耐震改修工事を行うこととし、平成26年度には実施設計を行います。

●【新規】眼科検診推進事業

予算額 3,437千円

近年、40歳以上の方のうち20人に1人が緑内障に罹患しているとの報告もあり、放置しておくとう失明する危険性があります。また、その他加齢に伴う目の疾患も含め自覚症状が発生しづらいものであるため、検診を実施し早期発見を促します。

●認可外保育施設等保育料補助金事業

予算額 26,535千円

認証保育所や定期利用保育施設などの認可外保育施設に通う子ども達の保護者に対して月額5,000円(25年度比2,000円増額)の補助を行うことで、認可外保育施設等に通う保護者の負担を軽減します。

●公立保育園耐震診断事業

予算額 6,000千円

旧耐震基準に基づいて建設されている第二保育園、第六保育園、第七保育園について耐震診断を実施し、施設の安全性を確認します。

●市制施行50周年記念事業

予算額 24,696千円



▲50周年記念事業のテーマと5本の柱(サブテーマ)

平成26年4月、東村山市は市制施行50周年を迎えます。今日の東村山市の発展を祝い、これまで東村山市を築いてこられた先人の方々の

ご尽力に感謝するとともに、これからの50年に向けて、自治力・活力・魅力ある明日のまちづくりを着実に進めていくことを明らかにするため、市民・行政・関係機関等が一体となって、市制施行50周年記念事業を実施してまいります。

基本目標 2

みんなが楽しく学び、

豊かな心を育むまち

次代を担う子どもたちの豊かな成長を願い、一人ひとりの個性と笑顔が輝く教育を充実させます。さらに、子どもから高齢の方まで、いつでも、どこでも、だれもが共に学ぶことを楽しみ、毎日をいきいきと暮らすことができるようにするため、生涯を通じて学習やスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

市内に残された貴重な自然や歴史、文化を大切に守りながら、市民同士がつながり、だれもが誇りを持てるふるさと東村山を育てるまちづくりを進めます。

●【新規】中央公民館耐震改修事業

予算額 10,700千円



▲中央公民館

中央公民館は、新耐震設計以前の昭和55年に建設されており、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」に規定する特定沿道建築物に該当することから、平成24年度に耐震診断を実施したところ、国土交通省の定める必要な耐震性能を有していなかったため、耐震化に向け実施設計を進めるものです。

●特別支援教育専門家チーム事業

予算額 2,448千円

特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が在籍する学校に専門家を派遣したり、医師相談会等を実施することで、望ましい教育、支援のあり方について教員や保護者に指導・助言を行います。25年度と比較し、医師相談会の回数を拡充して実施していきます。

●教員サポーター派遣事業

予算額 7,344千円

特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が在籍する学校の通常の学級に対して、担任の指導を補助する役割を担う教員サポーターを派遣します。

25年度と比較し、2名増とすることで、よりきめ細やかな指導を行っていきます。

●基礎学力向上推進事業

予算額 395千円



市内の児童・生徒の基礎学力の向上を目指し、東村山市版算数基礎ドリルを作成しています。平成24年度より始めました本事業につきまして、平成26年度は「図形」及び「数量関係」領域について検討していきます。

▲東村山市版算数基礎ドリル

●インターネットを活用した中央図書館における情報提供の充実

予算額 2,539千円

平成25年度に設置した利用者用パソコンにおいて、市民の方が直接検索できるデータベースを増やすなど、より多様なサービスと利便性の向上を図ります。

基本目標 3

みんなでつくる安全・安心と

うるおいを実感できるまち

市民の貴重な生命と財産を守り、だれもがより安全で安心して暮らすことができるようにするため、地域社会を構成する市民・行政・企業が一体となり、犯罪や自然災害に敢然と立ち向かえるまちづくりを進めます。

地球レベルで考え、地域レベルで行動しながら水と緑にあふれる豊かな自然を守り、共生し、地球環境に負荷の少ない、次世代に誇れる東村山らしいうるおいのあるまちづくりを進めます。

●【新規】北山公園エントランス整備事業

予算額

2,000千円



▲北山公園

北山公園の善行橋側入口付近の舗装について、自然系舗装（真砂土舗装）を施すことで、ほこりや雨天時のぬかるみを防止することにより、来園者の利便性の向上を図ります。

●（仮称）公共施設再生計画

予算額 8,000千円

当市では、老朽化が進む公共施設を最適化するため、平成24年度より、専任所管を新設し、公共施設白書の作成や、市民アンケートの実施など、公共施設再生計画の策定に向けた本格的な取り組みを開始しております。

平成25年度には、職員による庁内検討会議と市民や学識経験者による検討協議会を設置し、二つの会議体の連携により、公共施設再生計画基本方針の策定を進めてまいりました。

平成26年度につきましては、基本方針に基づく具体的な取り組みの推進に向け、公共施設再生計画基本計画を策定してまいります。

●本庁舎耐震補強等改修事業



▲市役所本庁舎

予算額 13,912千円

昭和47年に建設された市役所本庁舎については、耐震診断の結果、国土交通省の定める必要な耐震性能を十分に満たしておらず、補強の必要があることから、平成25年度に実施した調査結果を踏まえつつ、耐震補強を実施するための実施設計を進めてまいります。

基本目標 4

みんなが快適に暮らせる、

活力と魅力にあふれたまち

市民のだれもがずっと住み続けたいと思える、市外からも住んでみたい・訪れてみたいと思われるような豊かな東村山の実現のため、安全で快適な道路やよどみなく流れる交通ネットワークなど、市民生活や産業を支える都市基盤を整備していきます。

これまで地域の人々が大切に育んできたまちの魅力を引き出し、多彩な個性や資源をさらに磨き上げ、にぎわいのあるまちづくりを進めます。

●【新規】都市マーケティングの推進

予算額 3,000千円

自治体経営の質を高め、市民満足度と定住意向を向上させるための基盤を構築すべく、都市経営に関する調査・分析・研究を進めてまいります。

●【新規】黒目川流域下水道雨水整備事業※下水道事業特別会計

予算額 9,471千円

都市計画道路3・4・5号線の整備に合わせた公共下水道(雨水)の整備に向けて、実施設計を進めてまいります。

●【新規】沢の堀調査事業



▲沢の堀

予算額 3,500千円

水路である沢の堀にかかる鉄筋コンクリート製の蓋の強度を調査し、安全性の確認を行います。

●都市計画道路3・4・27号線整備事業※下水道事業特別会計含む

予算額 1,551,997千円

平成21年度より事業認可を受け、用地取得・設計を進めてきた都市計画道路3・4・27号線（通称さくら通り）について、平成27年度中の開通に向けて、用地の取得と築造工事を進めてまいります。

●駅エレベーター等設置事業

予算額 77,000千円

西武鉄道西武園線の西武園駅において、エレベーターや内方線付き点状ブロックの整備、南口の段差解消などのバリアフリー化を実施し、多くの方により安全で使いやすい駅へと改修を行います。

●市報の充実

予算額 2,750千円

市民との信頼感の醸成および市民との情報共有感の向上のために、市民に親しまれ、読まれる市報にリニューアルします。内容面では読み物としての情報発信や市民・地域情報の充実を図り、紙面の仕様として、表紙面・最終面のカラー化と両サイドから読めるデザイン、段組みや文字の大きさの変更等を行ってまいります。

●市税等コンビニエンスストア収納

※国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計を含む

予算額 6,442千円

納付機会の拡大により市税等の収納率向上を図ることを目的に、国民健康保険税当初課税分についても、平成26年度よりコンビニエンスストア納付ができるようになります。

